

沖縄県立久米島高等学校 平成30年度入学者選抜における合否基準

連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

- ア 本校校長は、連携型中学校長から提出された連携型入学志願書（久米島地区連携第1号様式）、調査書（第2号様式）、適性検査及び面接（プレゼンテーションを含む）の結果等を資料として選抜を行う。
- イ 適性検査を以下のとおり実施する。
- (ア) 国語・社会、数学・理科をセットで、英語を単独で試験を行う。
 - (イ) 試験時間は国社は40分、数理は40分、英語は20分で行う。（各教科20分で算出）
※配点は各20点とする。
- ウ 面接を以下のとおり実施する。
- (ア) 個人面接を行う。
 - (イ) 地域に関することについてプレゼンテーションを5分以内で行う。また、プレゼンテーションに関する質問を行う。

推薦入学

- ア 本校校長は、中学校長から提出された推薦入学志願書（推薦第1号様式）、調査書（第2号様式）、推薦申請書（推薦第2号様式）及び面接の結果に基づき推薦入学予定者を決定する。
- イ 面接は、提出された推薦申請書（推薦第2号様式）に記載された自己表現及び個性表現の申告内容その他の事項について実施する。
- ウ 面接の実施
- エ 個性表現で出願した者は実技・実演審査を実施する。
- ※原則として実技・実演はすべて1人で行うこと。
 - ※「個性表現」で出願した者は実技・実演に必要な道具等は各自で準備すること。

一般入学

- ア 高等学校に、校長を委員長とする入試選抜委員会を置く。
- イ 選抜委員会は、出身中学校長から提出された調査書（第2号様式）、学力検査等の成績及び面接の結果を基にして選抜を行う。
- ※面接は、志願者全員について実施する。ただし、連携型中高一貫教育に係る入学者選抜及び推薦入学の合格内定者を除く。
- ウ 選抜は、調査書（第2号様式）及び学力検査等の成績を資料として行い、調査書（第2号様式）と学力検査等の成績との比重は5対5とする。
- エ 学科の特色に応じて学力検査実施教科ごとの配点は変えない。